

中国における酪農業が国家経済発展の重要産業と位置付けられている。河北省は中国の五つの大きな酪農業生産地の一つであり、食糧作物の生産も多い。このような中で、穀物の茎の焼却により大気が汚染され、家畜糞尿の野積みは農業生産と人間の生活に影響を及ぼした。従って、いかにして酪農を中心とする資源循環型農業システムの成立を図るかが重要な課題となっている。本報告では、事例とした漕河鎮で実地調査を行い、資源循環型農業を構成するそれぞれの主体を紹介すると共に、資源循環型農業システムの特徴を明らかにする。



また、中国南方における農業の生産にも注目した。そこはもともと畜産と魚介類の養殖および稲作や野菜や果樹などを組み合わせる複合農業であった。稲作の藁や果樹の果実と葉茎などを家畜と家禽に食べさせ、家畜と家禽の糞尿を養魚池に投げ入れ、また養魚池の底泥を稲作や果樹や野菜などに施肥する。このような伝統的な農法は全天然資源循環型農業と呼ばれている。しかし、これを形成した伝統的な農法は時の経過とともに変わっている。

そこで、中国珠江デルタにある白蕉鎮の事例を取り上げる。従来の方式を継ぐ農法が現在どのように実施されているのか、また白蕉鎮内の農業は資源循環型農業であるのかを、異なる生産規模の農家に対して行った実地調査に基づいて解明する。

9/13 地区クラブ研修セミナー報告(要約) 永田芳郎
DLPとは「地区(district)・リーダーシップ・プラン」
CLPとは「クラブ・リーダーシップ・プラン」の略です。
CLPの最大の目的は、クラブを長期的に如何に発展させ、活性化を図って行くかと云うところにあります。会員の維持と新会員の勧誘を図り、クラブを更に発展させて行くためには、クラブ自体を魅力ある、生き生きとしたクラブへと絶えず変えて行く努力が必要です。CLPはその様な目的をもって各クラブへ推奨されたのです。
検討する点
1. クラブの発展に繋がるような長期目標を立案する。
2. 長期目標を支える年次目標を設定する。
3. クラブ協議会などの会合を通じて会員全員がクラブ活動に参加していることを実感出来るようにする。
4. クラブ内及び地区との情報伝達をガバナー補佐や地区委員を通じて円滑に図る。
5. 年度から年度への継続性を保つため、クラブ指導者間の協力を緊密に保つ。
6. 独自のクラブ運営が反映出来るように、クラブの長期計画や細則を適宜修正する。
7. クラブ会員間の親睦が深まるような奉仕と親睦の機会を提供する。
8. 会員全員がクラブのプロジェクトや奉仕活動に活発に関与するように計画する。
9. 会員に対する包括的な研修プランを立案し、指導者を育成する。

●出席委員会報告出席率向上にご協力を！

●今後の予定

出席報告	第 2 7 7 5 例会	第 2773 回(10/14)訂正
会員数	3 8 (34) 人	3 8 (34) 人
出席数	2 0 (18) 人	3 1 (30) 人
出席率	5 5 . 5 6 %	8 8 . 5 7 %

11/11(水)	会員卓話 日高淳一会員
11/18(水)	クラブフォーラム (CLPについて①長期ビジョン)
11/25(水)	クラブフォーラム (CLPについて②長期計画)

市内ロータリークラブのプログラム				★印は例会場ないし例会時間変更			
RC	例会日	プログラム	例会場	RC	例会日	プログラム	例会場
東	11/5(木)	★早朝例会 6:30	サンデイズイン鹿児島	東南	11/10(火)	会員卓話	サンロイヤル
北		★親睦例会 18:30	レゾナント鹿児島	城西		★クラブ定款休会	東急REIホテル
サザン		クラブフォーラム	東急REIホテル	西	11/11(水)	クラブフォーラム	山形屋
鹿児島	11/6(金)	地区大会後のクラブ協議会	山形屋	西南		会員卓話	ゆうづき
中央	11/9(月)	国際奉仕フォーラム	山形屋				

